



自衛隊千葉地方協力本部

自衛隊千葉地方協力本部予備自衛官三年連続 東部方面隊優秀隊員として表彰される

自衛隊千葉地方協力本部（本部長 大山康倫一等海佐）所属予備自衛官の服部予備准尉は、二月十一日（木）、朝霞駐屯地において行われた令和二年度東部方面隊優秀隊員招待行事に招待され、東部方面総監より褒賞状が授与された。

表彰式において、功績の紹介と勤務先上司によるお祝いのメッセージを紹介された服部予備准尉は、「武山で入隊し松戸、下志津と高射特科の首都防空任務部隊へ配属となり、朝霞のパレードへの参加、アメリカでのミサイル射撃及び朝霞での新隊員教育隊助教等良い経験をさせて頂きました。また、営内生活でのしつけやマナー、気配り等も身につける事が出来ました。予備自衛官となり、訓練は様々ありますが地方協力本部そして、担当中隊の方々のお力添えで厳しく、そして楽しく実施しています。」と、自衛官を退官後、企業に勤めつつ三十二年の永きにわたり、予備自衛官として努力してきた思いを語ってくれた。

千葉地本は、今後とも綿密かつ親身な心情把握と教育訓練の調整を実施し、更なる優秀隊員が輩出されるよう予備自衛官等の訓練環境の充実に努力していく所存である。



千葉県防衛大学校学生父母会へ防衛講話



本部長防衛講話

自衛隊千葉地方協力本部（本部長 大山康倫一等海佐）は、令和3年2月27日（土）千葉市内の生涯学習センターにおいて千葉県防衛大学校学生父母会（会長 吉田哲朗様）参加者23名に対し防衛講話を実施した。
大山本部長は「防衛この1年」及び「南シナ海の情勢」と題して防衛白書を取り入れながら、わが国を取り巻く安全保障環境についての説明を父母会の方々にわかりやすく講話を実施した。参加者は普段聞くことが出来ない話に興味に耳を傾け、質疑応答では現在の情勢について質問するなど盛況のうちに終えた。
講話終了後、父母会から卒業されていく65期学生の会員に対して記念品の贈呈が行われ、4年間の思い出などが語られた。
聴講した会員からは「今年度はコロナ禍のため活動が制約された1年であった。今回、感染症対策を徹底した中で防衛講話を開催でき、会員相互の交流と防衛意識の高揚を図ることができた」との発言があった。
自衛隊千葉地方協力本部は、今後も協力団体と連携を図り防衛基盤の育成を図っていききたいとしている。



父母会会長挨拶



記念品贈呈



記念撮影